取扱説明書

日立 2槽式 電気洗濯機

HITACHI
Inspire the Next

PS-80S形

このたびは日立2槽式電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」☞3～5をお読みいただき、正しくお使いください。

容量8.0kg

50/60Hz共用

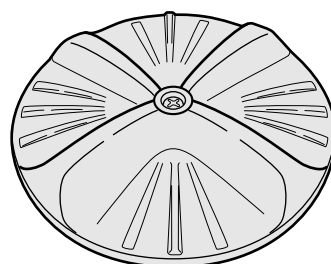
もくじ

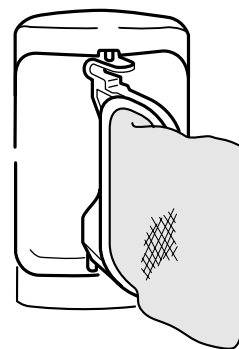
特長

新型洗濯タイマー採用により、つけおき洗いが簡単にできるつけおきタイマー

タイマーをセットすれば、20分間のつけおき洗いのあと、自動的に本洗いを始めてしっかり汚れを落とします。

大形パルセータ

大きなパルセータで8.0kgが洗えます。

糸くずフィルター

左右いずれの回転でも、糸くずを捕集します。

大形ステンレス脱水槽

大形ステンレス脱水槽でラクラク出し入れ。

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

「警告や注意を促す」内容のものです。

してはいけない「禁止」内容のものです。

実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

●火災・感電・けがの原因になります。

電源プラグや電源コードは

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
ほかの器具と併用すると分岐コンセントが異常発熱して、発火することがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火することがあります。

●電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はふき取る
火災の原因になります。

●お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。

●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。

●傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

●電源コードを傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・はさみ込むなどしない〕
電源コードが破損し、火災・発火の原因になります。

●テーブルタップによるタコ足配線はしない
火災・発火の原因になります。

●延長コードは使用しない
火災・発火の原因になります。

アース線は

●アース線は取り付ける
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

安全上のご注意(続き)

⚠警告

据え付けのときは

●浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
感電や漏電による火災の恐れがあります。

●キャスターの付いている台や、不安定な場所に据え付けない
本体の異常振動により、けがや本体故障の原因になります。

洗濯物や洗剤は

●洗剤を入れすぎない
洗剤は規定量を守ってご使用ください。泡が大量に発生して本体が故障し、水漏れや感電をする恐れがあります。

運転中、運転後は

●脱水槽が止まるまでは、中の洗濯物に手などを触れない
ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついて大けがをする恐れがあります。
特にお子様にはご注意ください。

●脱水中、ふたを開けてから15秒以内に脱水槽が止まらない場合は、使用を中止し、修理を依頼する
けがの原因になります。

本体の近くには

●引火物は洗濯槽、脱水槽に入れない、近づけない
(灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールやそれらの付着した洗濯物)
爆発や火災の恐れがあります。

●ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近づけない
火災の恐れがあります。

●幼児に洗濯槽、脱水槽の中をのぞかせない。また、本体の近くに台を置かない
洗濯槽、脱水槽の中に落ちてけがをすることがあります。

そのほか

●お手入れするときなどは、本体各部に直接水をかけない
ショート・感電の原因になります。

●分解したり、修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。(修理は販売店などにご相談ください)

●付属品が包装されているビニール袋をかぶらない
窒息の恐れがあります。

⚠注意

●水漏れ・けがの原因になります。

洗濯物は

●防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水をしない
洗濯物が傷んだり、脱水中に異常運転して、けがをする恐れがあります。

── 例えば ──
釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、防水性マット・シート、足ふきマットなど固くて厚いものなど

運転前後、運転中は

●運転中は脱水キャップを正しく入れる
洗濯物が飛び出して、けがをする恐れがあります。

●運転中は本体の下に手足などを入れない
けがの原因になります。

●運転中の洗濯物には手を入れない
ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをする恐れがあります。

そのほか

●ふたなどのプラスチック部品や、本体に洗剤(特に液体洗剤)やソフト仕上剤がついた場合は、湿った柔らかい布で拭きとる
本体のさびの発生、破損、プラスチック部破損の原因になります。

●防水パンや洗濯機トレーを設置する
床面の汚れ、ぬれを防ぐためです。

●排水口が掃除できるように設置する

●本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない
本体の故障や水漏れの原因になります。

●50℃以上のお湯は使用しない
本体の故障や水漏れの原因になります。

使用上のご注意

■結露に注意
夏季など気温と水温の温度差が著しいときは洗濯槽の外側に露が付き、床面をぬらすことがあります。別売り部品の洗濯機用トレー(YT-2)をご使用ください。

■水圧が高い場合は水栓を絞る
●給水ホースが外れたり、注水口以外から水が漏れることがあります。

■凍結の恐れのあるとき
残水を排水したあと、水流/排水切換を「標準」にセットしておいてください。
●もし凍結したときは、約40℃のお湯を2L(リットル)程度入れ、パルセータが手で回るようになってからご使用ください。

■靴などを洗ったり、脱水したりしない
●本体の故障や事故の原因になります。

■電源プラグをコンセントから抜き、洗濯機を移動し、下側を掃除する
●ほこりなどがモーターに入り込む恐れがあります。また、水漏れの点検にもなります。

■水はねが気になる場合はふたをする
●床をぬらすのを防ぐためです。

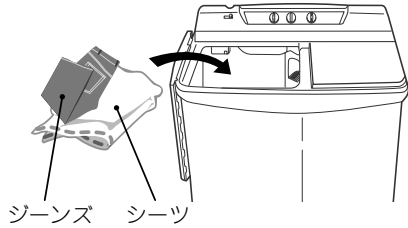
■使用後は電源プラグを抜く
●火災の原因になります。

■漂白剤を使うとき
●漂白剤を直接洗濯物にかけないでください。変色、布破れの原因になります。
●使用量および使いかたについては、漂白剤の表示に従ってください。

洗濯の仕上がりを良くするポイント

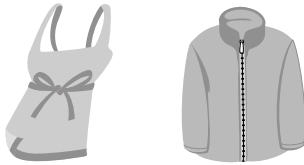
ご注意 ●取扱絵表示を確認してください。

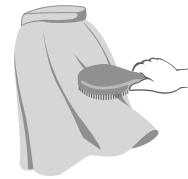
洗濯槽へ衣類を入れるときは大物や水に浮きやすいものから先に入れる

●布の動きがよくなります。

デリケートな衣類はネットに入れる

●レースのついた衣類やブラウス、ストッキング、タイツなどは、市販の「洗濯ネット」に入れてください。
●ワイヤー入りブラジャーは、市販の「ブラジャー専用ネット」に入れてください。

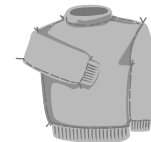
ひもは結んで、ファスナーは閉める

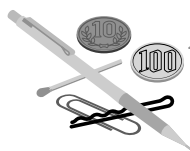
●ファスナーなどによる洗濯物の傷みや、本体の故障を防ぐためです。

大きなゴミ、どろや砂、髪の毛、ペットの毛は取り除く

●排水経路にゴミや異物が詰まり、故障の原因になります。

汚れのひどいものやしみは早めに処理しておく

●しみは時間がたつと落ちにくくなりますので、洗濯前に部分洗い洗剤などで処理しておくと、より効果的です。
●汚れのひどい洗濯物は、あらかじめ洗濯液に浸しておきます。

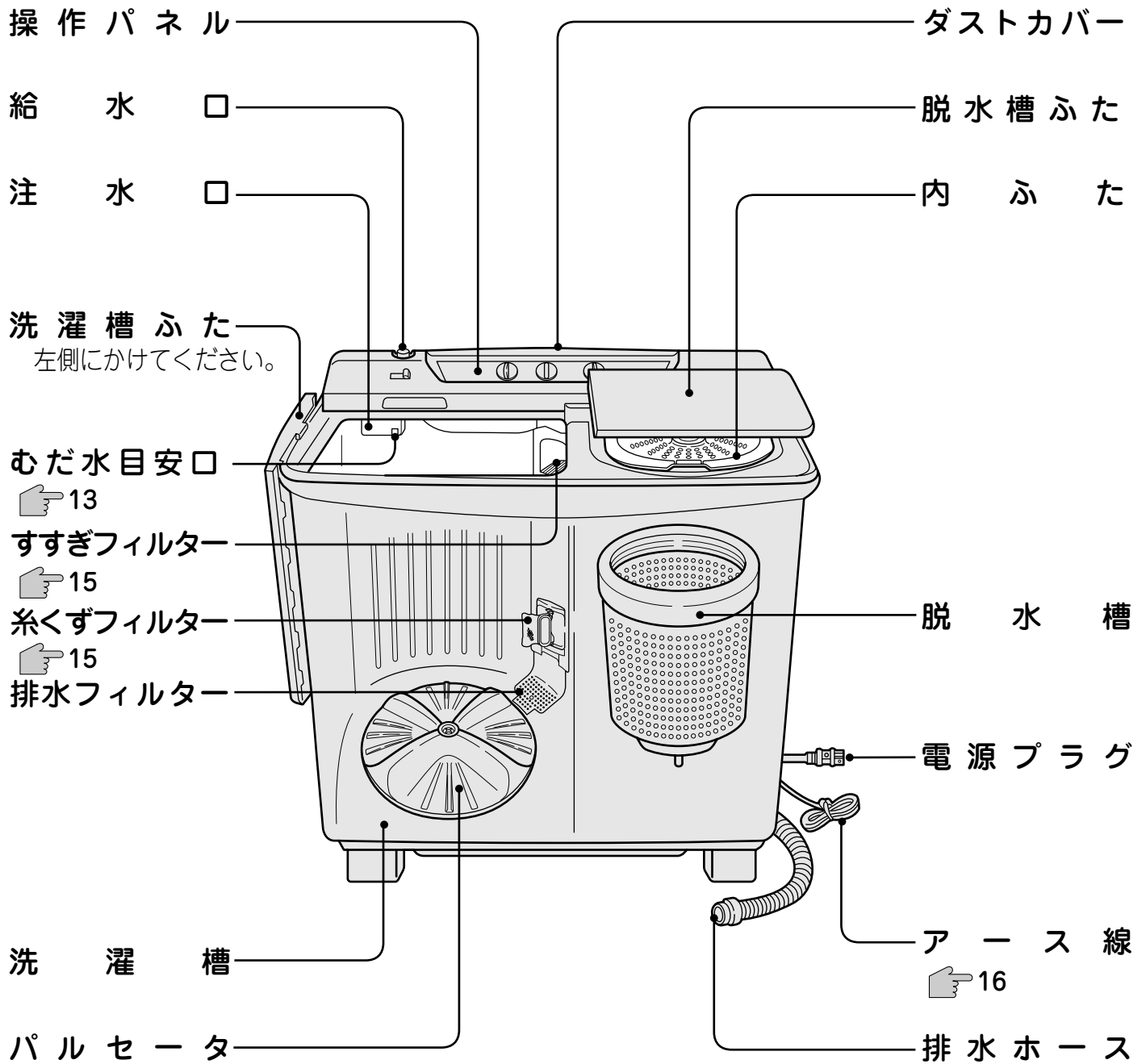
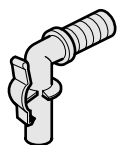
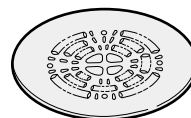
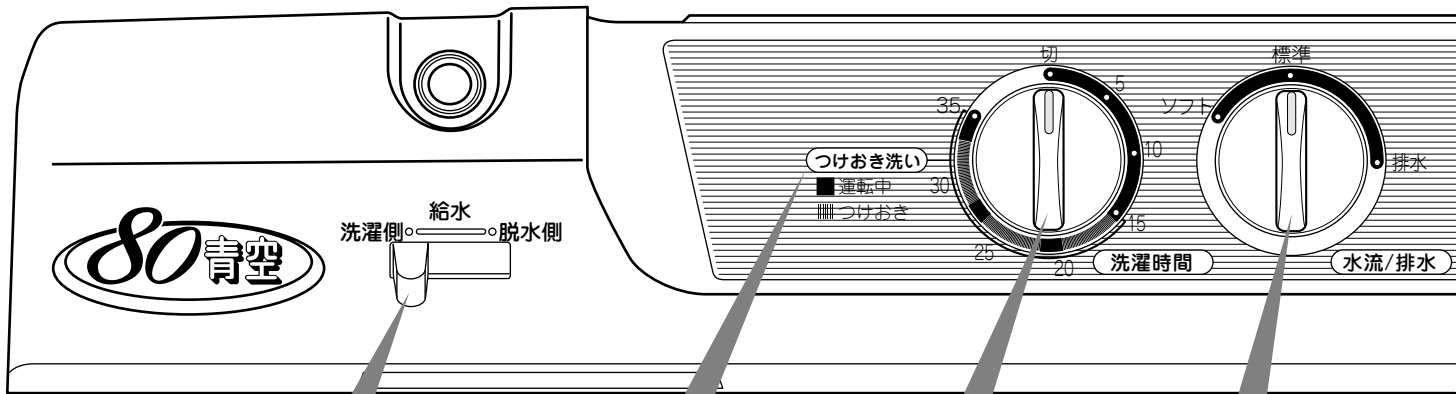
毛玉や糸くずが気になるものは裏返す・分けて洗う

●セーターなど糸くずが気になるものは裏返してください。
●気になるものは、タオル、バスタオルとは分けて洗ってください。

シャープペンシルなどは取り除く（ポケットの中も確認する）

●衣類を傷めたり、槽の穴開きによる水漏れなどの故障の原因になります。

シャープペンシルやボールペンなどの鋭利なもの、マッチ棒、ヘアピン、硬貨などは取り除く

各部のなまえ・付属品

（☞のあとの数字は主な説明のあるページです）

- 操作パネル
- 給水口
- 注水口
- 洗濯槽ふた
  左側にかけてください。
- むだ水目安口 ☞13
- すすぎフィルター ☞15
- 糸くずフィルター ☞15
- 排水フィルター
- 洗濯槽
- パルセータ
- ダストカバー
- 脱水槽ふた
- 内ふた
- 脱水槽
- 電源プラグ
- アース線 ☞16
- 排水ホース

操作パネルのはたらき

給水切換

洗濯槽と脱水槽への給水の切り換えをします。

- 「脱水側」では“脱水予備すすぎ”ができます。

つけおき洗いについて

■ 運転中
（自動反転運転）

||||| つけおき
（運転休止）

洗濯タイマー

「洗い」や「すすぎ」をするときに回します。

- 5分以下でお使いのときは、いったん10分以上回してから戻してください。
- つけ置き洗いについては、☞9をご覧ください。

水流/排水切換

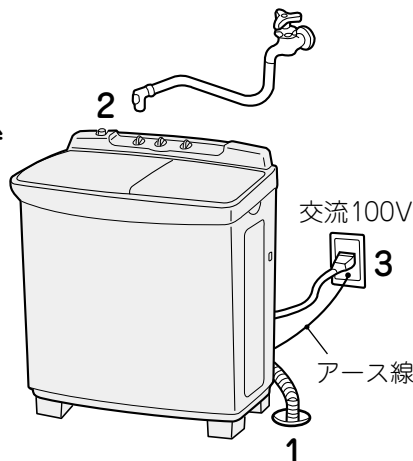
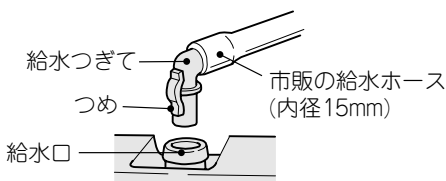
「水流（標準またはソフト）」と「排水」の切り換えをします。

お洗濯の順序

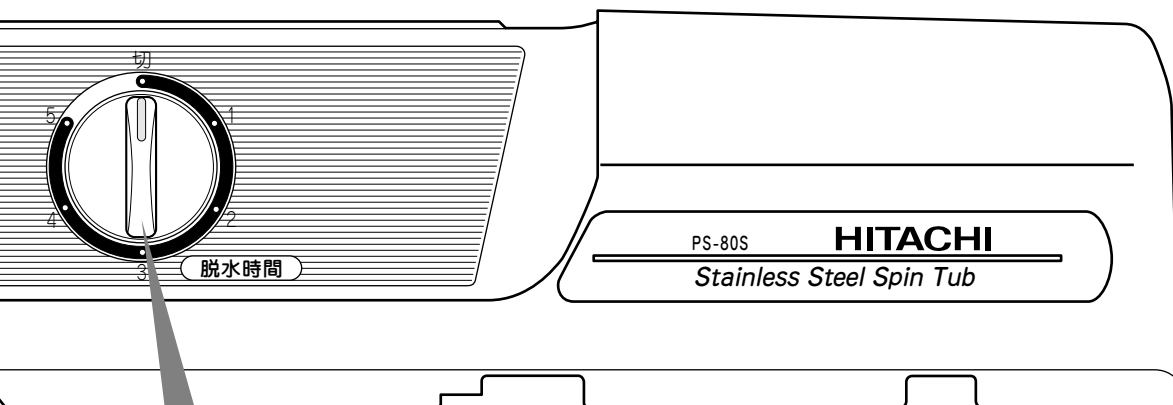
準　備

1 排水ホースを排水口につなぐ。

2 給水つぎてを給水口に差し込み、つめがカチッと音がするまで差し込む。

3 アース線を接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。

❶ 洗　い

- 水流を選ぶ
- 洗剤を溶かす
- 給水する
- 洗濯タイマーをセットする

（☞10）

脱水タイマー

脱水するときに回します。

- 1分以下でお使いのときは、いったん2分以上回してから戻してください。

つけおき洗いの機能・特長

- つけおき洗いにすると、洗濯効率が上がります。
- 標準洗いに比べ、しっかりきれいに洗えます。
- つけおき洗いを使うには、洗濯タイマーのつまみを35分から15分の間の位置に合わせます。この位置から15分の位置につまみがくるまで、つけおき洗いで運転します。（■は運転し､パルセータが回転し、自動反転します。
  ||||| は運転休止の状態で、パルセータは回転しません）
  15分の位置からは、通常の洗濯運転が始まります。

ご注意

- 色落ちしやすい衣類は洗わないでください。
- 石けん（天然油脂）は使用しないでください。
  黄ばみや黒ずみになる恐れがあります。
- 入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の説明をお読みになり、ご使用ください。
  衣類への色移り（特にピンク系のもの）やステンレス槽をさびさせるもの（イオウ配合のもの）があります。

（それぞれの操作手順は ☞ のページで説明しています）

❷ 中間脱水・脱水予備すすぎ

- 脱水を2〜3分する
- 約１分間給水する
- 1分間脱水する

（☞10）

❸ 本すすぎ

- ためすすぎまたは注水すすぎをする

（☞12）

❹ 脱　水

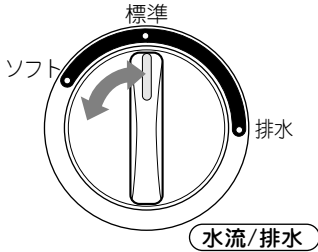
（☞12）

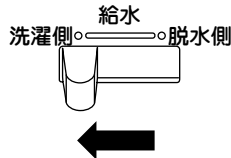
後始末

（☞13）

お洗濯の順序(続き)

1 洗い

1 水流/排水切換を「標準」または「ソフト」にセットする

10 表1

2 給水切換を「洗濯側」にセットする

3 洗剤を溶かす

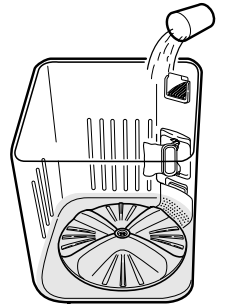
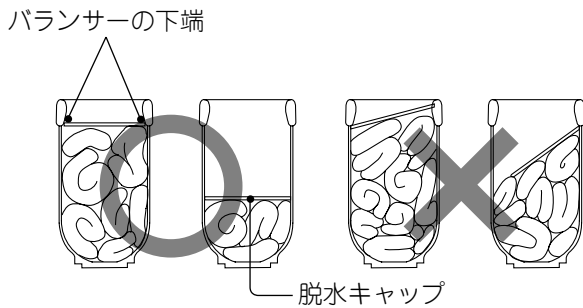
1 **排水フィルターがかくれる程度に給水する。**

2 **洗剤を入れる。**
- 漂白剤を使用する場合は、洗剤と一緒に入れて溶かしてください。 11 表3

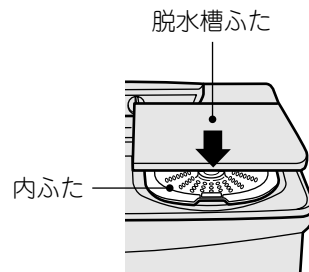
3 **洗濯時間を約2分(洗濯時間の切と5分の中間ぐらい)にセットし、洗剤を溶かす。**
- いったん10分以上回してから戻します。

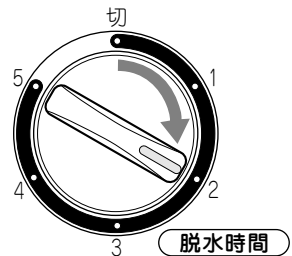
2 中間脱水・脱水予備すすぎ

1 洗濯物を脱水槽に入れる

バランサーの下端

脱水キャップ

洗濯物を脱水槽に均等に入れ、脱水キャップをバランサーの下端まで水平に入れます。
- 振動が大きくなったり、洗濯物が飛び出してけがをすることがあります。

2 ふたを閉める

内ふた、脱水槽ふたを閉めます。

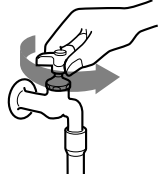
3 脱水する

脱水タイマーを2～3分に合わせます。

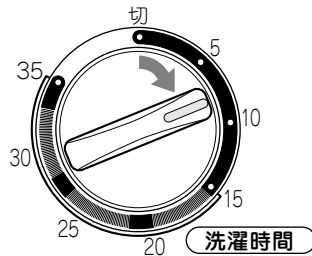
お洗濯の目安

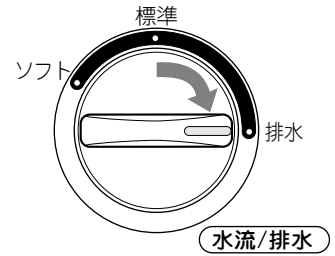
表1　水流と洗濯時間

洗濯物の種類	洗濯時間	水　流	標準洗濯量
ひどい汚れ、厚物	10～15分	標　準	8.0kg以下
麻・木綿など	8～10分		
普通の衣類(下着など)	7分		
化せんなどの汚れの軽いもの	2～5分		
手洗い表示のある毛100%、毛混紡のニット製品、薄い化せん	2～5分	ソフト	1.5kg以下

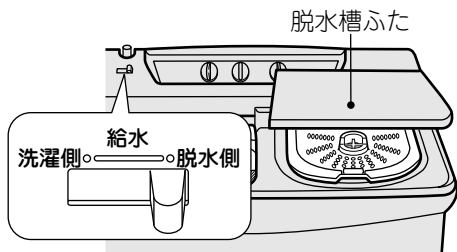
- 標準洗濯量はJIS(日本工業規格)で規定された布地を洗濯した場合のものです。
  洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗える量が変わります。
- 普通の衣類では標準洗濯量の80%程度が適当です。

4 洗濯物を入れ給水する

● 給水量が多すぎる（1分間に30L（リットル)以上の給水をする）と、脱水側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。

5 洗濯タイマーをセットする

10 表1

6 洗い終わったら

水流/排水切換を「排水」に合わせ排水します。

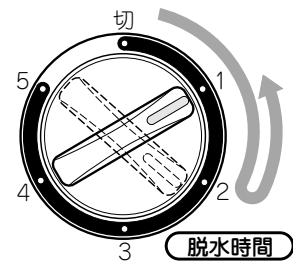
“本すすぎ” の前に “中間脱水” を行い、洗剤分を取っておきます。
さらに4〜6の “脱水予備すすぎ” をすると “本すすぎ” の時間を短くでき、より節水できます。

4 ふたを開け、給水切換を「脱水側」にセットする

1 給水切換を「脱水側」にします。

2 脱水槽ふたを開けます。

5 約1分間給水する

● 給水量が多すぎる（1分間に10L（リットル)以上の給水をする）と、洗濯側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。
● 脱水槽が回っているときは給水しないでください。
● 脱水槽に給水しても水はたまりません。

6 ふたを閉めて脱水する

給水を止めて、再び1分脱水します。

● いったん2分以上回してから戻します。

表2　洗濯物の重さ

洗濯物の種類	生地の種類	1枚当りの重量
くつ下(1足)	混　紡	約　50g
半そでアンダーシャツ	綿100%	約130g
ワイシャツ	混　紡	約200g
バスタオル	綿100%	約300g
パジャマ上下	綿100%	約500g
シーツ	綿100%	約500g
タオルケット(薄手)	綿100%	約500g
作業着上下	混　紡	約800g

表3　水位と洗剤量

洗濯物の取り扱い絵表示に示されている洗剤をお使いください。

標準洗濯量	水位	水量	洗剤量(水30Lに対し) 25g(濃縮)	40g(一般)
6.5〜8.0kg	3	64L	54g	86g
4.0〜6.5kg	2	50L	42g	67g
4.0 kg以下	1	40L	34g	54g

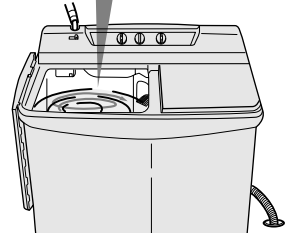
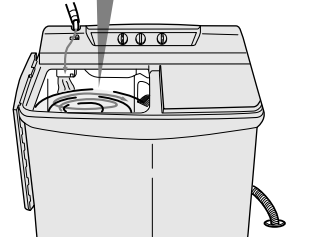
お洗濯の順序（続き）

③ 本すすぎ

“本すすぎ” には “ためすすぎ” と “注水すすぎ” があります。

- “ためすすぎ” をすると節水になります。
- “注水すすぎ” は念入りにすすぎたいとき行います。

1 洗濯物を洗濯槽に移す	2 水流／排水切換を「標準」または「ソフト」にセットする	3 給水切換を「洗濯側」にセットする

ためすすぎ

注水すすぎ

④ 脱　水

洗濯物を脱水槽に移し、脱水する。（中間脱水・脱水予備すすぎの1～3と同じ操作をします**10****）**

⚠警告

脱水槽が止まるまでは、中の洗濯物に手などを触れない。
- ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをする恐れがあります。
  特にお子様にはご注意ください。

脱水中、ふたを開けてから15秒以内に脱水槽が止まらない場合は、使用を中止し、修理を依頼する。
- けがの原因になります。

■脱水時間の目安

洗　濯　物	脱水時間
シーツ(木綿、タオル地)	3～5分
アンダーシャツ(木綿)	2～4分
ワイシャツ(混紡)	1～2分
薄物(化せん)	1分

- 脱水槽に洗濯物を入れずに脱水運転を行うと、「ピー」という風切り音がすることがありますが、これは脱水槽が高速で回転しているためであり、異常音ではありません。浴用タオルを1枚程度入れるとなくなります。

すすぎのポイント

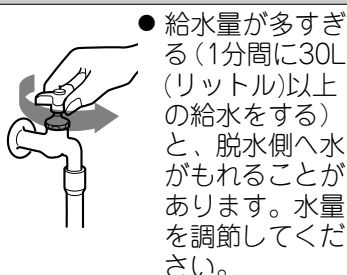
■ “洗い” 終了時に洗濯槽の底のあわ残りが気になる場合

水流／排水切換を「排水」にして洗濯槽に給水しながら洗濯タイマーをまわしてパルセーターを約1秒間ほど回転させ、その後洗濯タイマーを「切」に戻す。この動作を3～4回繰り返してください。
（あわを水の中に巻き込ませるための操作です）

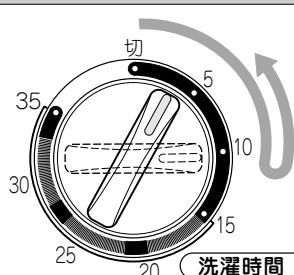
■ “すすぎ” 終了時に水面のあわ残りが気になる場合

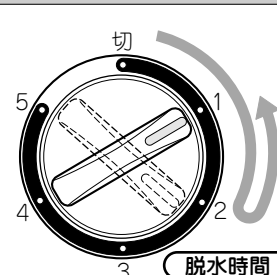
“すすぎ” の最後に3分ほどソフト水流で注水すすぎをしてください。
あわ残りを少なくすることができます。

- “すすぎ” が終わった水を次の “洗い” に利用すると節水になります。

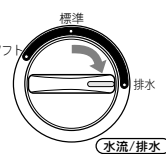
5 設定した水位まで給水する

- 給水量が多すぎる（1分間に30L（リットル）以上の給水をする）と、脱水側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。

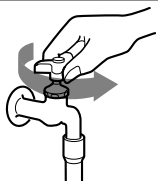
水位に達したら水栓を閉めます。

6 洗濯タイマーを2〜3分に合わせる

- いったん10分以上回してから戻します。

7 洗濯物を脱水槽に移し、1分間脱水する

- いったん2分以上回してから戻します。

8 脱水後1分ほどしてから排水する

- 脱水側の排水をよくするためです。

すすぎが不十分の場合は、5〜8をさらに1〜2回繰り返します。

5 設定した水位まで給水する

- 給水量が多すぎる（1分間に30L(リットル)以上の給水をする）と、脱水側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。

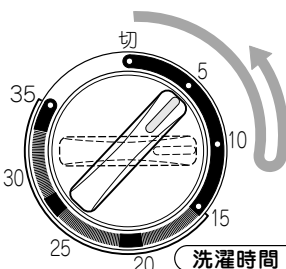
6 水量を調節して給水を続ける

「むだ水目安口」から水があふれないよう、水量を調節します。 むだ水目安口

- 注水すすぎ時の水位は、洗濯水位より高くなっています。

＊ 水位線よりも内部のいっ水口が高くなっているためです。

7 洗濯タイマーを3〜5分に合わせてすすぐ

- 中間脱水・脱水予備すすぎを行っていないときは、7分にセットします。
- いったん10分以上回してから戻します。
- すすぎが終わったら水栓を閉めます。

後　始　末

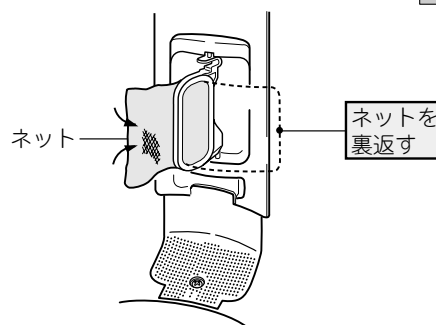
1 電源プラグをコンセントから抜く。

⚠警告

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。
- 感電やけがをすることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜く。
- 感電やショートして発火することがあります。

2 フィルターについた糸くずを取り除く。

☞15

脱水のポイント

- くつ下やハンカチなどの小物は、飛び出しを防ぐため脱水槽の底の方に入れてください。
- 脱水中に異常音がしたら、脱水を止め、洗濯物を均等に入れ直してください。
- 排水をよくするため、脱水したあとで、洗濯槽の水を排水してください。
- 洗濯物は脱水槽に均一に入れてください。均一に入れないと、振動が大きくなることがあります。

■脱水槽の外側に洗濯物が落ちたとき

1 電源プラグをコンセントから抜く。

2 お買い上げの販売店に連絡していただき、修理を相談する。☞19

いろいろなお洗濯のしかた

ウールを洗うとき

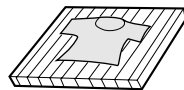
■水位の目安

水　位	3
洗濯物の量	1.5kg

■お洗濯の目安

水　流	洗い	中間脱水	注水すすぎ	脱　水
ソフト	約1.5分	30秒以下	約1.5分	30秒以下

■干しかた

形くずれしないように、風呂のふたなどを使って平干しします。

ご注意

次のものは洗濯しないでください。

- 絵表示が（ドライ）のみで（手洗イ）表示のないもの。
- 羊毛以外の獣毛素材(カシミヤ、アンゴラ、モヘヤなど)
- レース編みなど特殊な編みかたのもの。

お洗濯のポイント

- 洗濯物の絵表示の洗剤を溶かしてご使用ください。毛、ニットの洗濯は約30℃のぬるま湯が適当です。
- 洗濯物は裏返しにして、市販のネットに入れ、洗濯液にしみ込ませてください。
- 汚れがひどいときは、あらかじめ洗濯液につけ置きすると(5分程度)効果的です。

毛布を洗うとき

■洗える毛布

- 「手洗イ」と表示されている毛布。
- 化学せんい100%のシングルサイズの毛布（1枚の重さが3.2kg以下のもの）

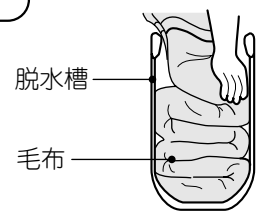
ご注意

- 電気毛布は洗えないものがあります。電気毛布の取扱説明書をご覧ください。
- 電気毛布を洗うときは、別売り部品の毛布洗いネットをご使用ください。☞20

■お洗濯の目安

洗濯量	水位	水流	洗いかたの目安					
			洗濯時間	脱　水	ためすすぎ	脱　水	注水すすぎ	脱　水
3.2kg以下	3	標準	5分	1分	2分	1分	2分	3分

お願い

- 洗剤は合成洗剤を使用し、あらかじめ溶かしてください。
- 洗濯中に毛布が浮き上がった場合は、洗濯液に押し込んでください。
- 脱水槽に移すときは、軽く絞りながら、右の図のように脱水槽に入れてください。脱水キャップをご使用ください。脱水キャップのセットのしかたは ☞10

石けん(天然油脂)を使うとき

■洗濯機で直接溶かす場合

排水フィルターがかくれる程度に給水し、水をかくはんしながら石けん(天然油脂)を入れ、2分ほど運転します。

- 石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを行ってください。すすがないと黄ばみや、においの原因となります。
- 使用量が多すぎたり、低温の水に直接入れたりしますと、溶け残った石けん分や石けんかすがホースや洗濯槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。

■溶けにくい場合

1 **30℃ぐらいのぬるま湯を約5L(リットル)別容器に用意します。**

2 **かき回しながら、適正量の石けん(天然油脂)を少しずつ入れます。**

- 石けん(天然油脂)が固まったり粒が残ったりしないよう溶かしたあと、洗濯槽に入れます。

お手入れのしかた

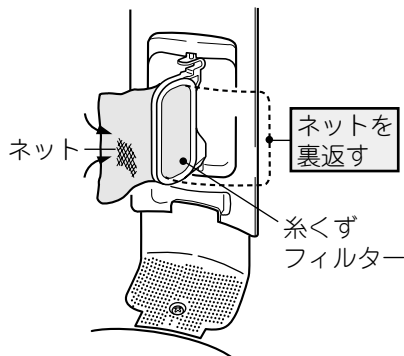
本体に付いたほこりや汚れは、湿った柔らかい布でふき取ってください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

糸くずフィルター

●糸くずは湿っているときの方が、簡単に取れます。

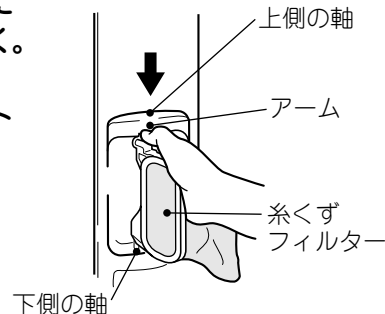
■糸くずの取り除きかた

1 ネットを裏返しにして糸くずを取り除く。

2 ネットを元どおりに戻す。

■糸くずフィルターを外すとき

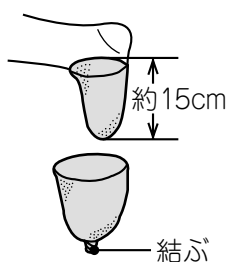
1 アームを下の方向に押して、手前に引く。

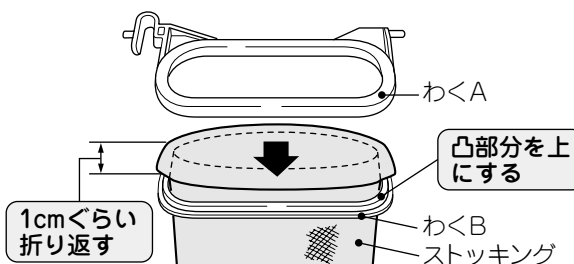
2 元どおりにセットする。

- 上側の軸を穴に差し込み、下側の軸を合わせ押し込みます。

ネットが破れたとき

糸くずフィルターは消耗品です。ネットが破れたときは、販売店でお買い上げください。
ナイロンストッキングも次の方法で利用できます。

20

1 ストッキングの先を約15cm切る。

- 筒状の部分を用いるときは、端部を結んでください。

2 わくBをストッキングの中へ入れ、わくAにはめ込む。

すすぎフィルターの清掃

1 つまみ部に指を入れて手前にひっぱり、すすぎフィルターを取り外して、糸くずを取り除く。

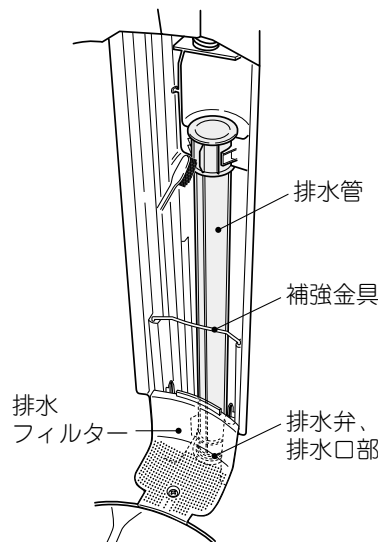
2 排水管の回りの汚れを取り除く。

- 歯ブラシなどでこすり、水で洗い流してください。

3 排水弁についた糸くずや、排水口付近の砂や泥は、水流/排水つまみを「排水」に合わせるか、排水管を上に持ち上げてから水で洗い流す。

- 清掃をしても洗濯水がホースから漏れたり、排水が良くできない場合には、お買い上げの販売店にご連絡していただき、点検を依頼してください。

4 元どおりにセットする。

※排水管を清掃中に補強金具が外れた場合は、右図の位置に補強金具を差し込んで取り付けてください。

お手入れのしかた（続き）

脱水槽のお手入れ（清潔に脱水するために）

ご使用後は次の手順でお手入れをしてください。

脱水槽の中にヘアピンやピンなどのさびやすい鉄製品が残ったり、赤さびや鉄粉などの混じった水が槽内に残っている場合は、取り除いてください。さびが発生することがあります。

さびにご注意

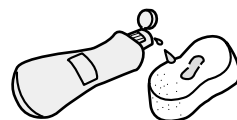
ステンレス槽は、さびにくい性質を持っていますが、次のような場合には、さびが発生することがあります。

① ヘアピンやピンなどの、さびやすい鉄製品が槽に残り、接触したまま放置したとき。
② 赤さびや鉄粉などの混じった水が槽内に入って、赤さびが槽に付着したとき。

さびに気がついたら、市販のクリームクレンザーをスポンジか布につけて、さびを取り除いてください。
（詳しくは洗剤の表示をご覧ください）

- 金属たわしなどは槽を傷つけ、槽がさびやすくなりますので使用しないでください。

さびの発生を防ぐために、次のことをお守りください。

- 長期間、槽に洗濯物を入れたままにしないでください。

据え付け

初めてお使いになるとき、排水ホースから水が出ることがありますが、これは工場の性能テストの残水です。開梱時ほこりが付いていることがありますが、これは倉庫保管時に付いたものです。

洗濯機の据え付け

乾燥した風通しのよい、水平でしっかりした床に据え付けてください。

ご注意

- 直射日光の当たる場所は避けてください。洗濯機の部品の変形、変色の恐れがあります。

アース線の取り付け

⚠ 警告

アースを取り付ける。

- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
  アースの取り付けは販売店にご相談ください。

■アース線は取り付けてください。

- 万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもお勧めします。
- アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 設置場所の変更や転居の際には、アースの取り付けを行ってください。

アース端子がある場合

アース線をアース端子に取り付けてください。

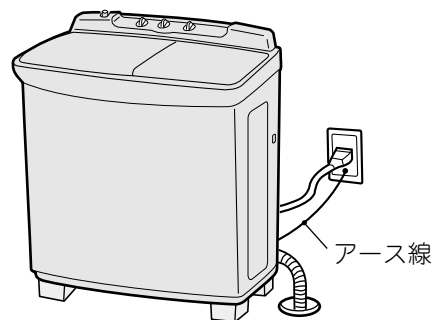
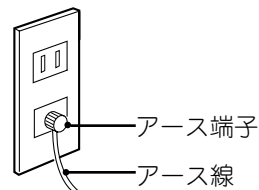
アース端子がない場合

アース工事をしてください。

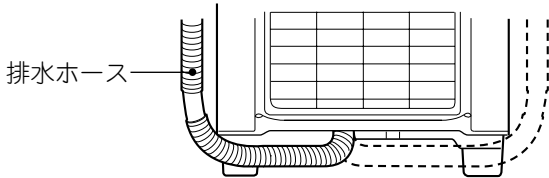
- 電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています。

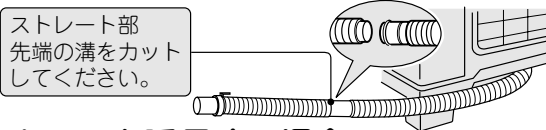
ご注意

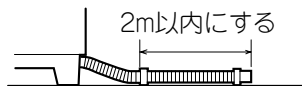
次のようなところには、アース線を接続しないでください。（法令などで禁止）

- ガス管、電話線、避雷針、水道管
  水道管は途中から塩ビ管になっている場合がありますので避けてください。

据え付け(続き)

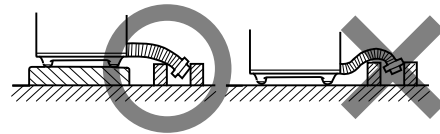
排水ホースについて

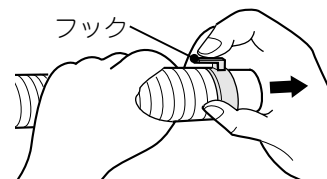
排水ホースは、洗濯機の後ろ側から出ています。
排水ホースは左右に引き出せますので、排水場所にあわせてご使用ください。

■ホースが長い場合

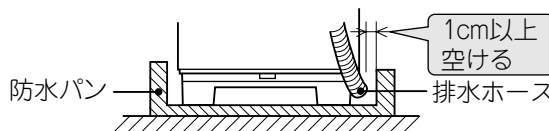
ホースが長く余る場合は、ホースの途中にストレート部がありますので、ナイフなどでカットしてください。

■排水ホースを延長する場合

延長する部分の長さは2m以内にしてください。

ホースの延長には、別売り部品の排水ホース(部品番号KW-50K1 023)をお勧めします。☞20

■排水ホースの途中が持ち上がる場合

洗濯機を台の上において、排水の流れをよくしてください。

■フックが当たって、排水ホースが排水口に差し込めない場合

フックを回しながらひっぱって外します。

■防水パンと組み合わせる場合

別売りの防水パンを使う場合は、排水ホースがつぶれないように防水パンと排水ホースの間を1cm以上空けてください。

修理を依頼される前に

異常が生じたときは、次の点検をしてください。

症　　状	点検するところ
運転しない	●ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグとコンセントが接触不良になっていませんか。 ●パルセータの周囲の残水が凍結していませんか。☞5
洗濯物の動きがよくない	●洗濯物を入れ過ぎていませんか。
脱水槽が動かない	●脱水槽ふたが閉まっていますか。 ●脱水槽の外側に洗濯物が落ち、軸に巻きついていませんか。(くつ下など)☞13
脱水ができない	●洗濯物が片寄っていませんか。 ●落ちた洗濯物が排水口をふさいでいませんか。 ●脱水槽の周りがあわでいっぱいになっていませんか。 ●排水ホースの途中が持ち上がっていませんか。また、2m以上延長されていませんか。
洗濯水がホースから漏れる	●排水弁や排水口部に糸くず、砂やどろがたまっていませんか。☞15
排水ができない	●排水フィルターやすすぎフィルターが糸くずで詰まっていませんか。☞15 ●排水ホースがつぶれていませんか。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しては、部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」☞19にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

17ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	電気洗濯機
型式	PS-80S
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院などでタオルなどの洗濯に、また、寮や病院などで共同でご使用になり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換（駆動部ユニット、ベルトなど）が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。
●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

愛情点検

★長年ご使用の洗濯機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●脱水槽が止まりにくい。 ●水漏れがする。（ホース、水槽、給水つぎて） ●こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。 ●据付が傾いたりグラグラしている。 ●電源を入れても、動かないときがある。 ●タイマーが途中で止まることがある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●その他の異常・故障がある。 ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。	▶	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

修理に関するご相談は
エコーセンターへ

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

(受付時間) 9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

日立家電品の長期使用についてのご相談は、日立長期使用家電品相談窓口へ

TEL　0120-1454-58

(受付時間) 9:00～17:30(月～金)
土、日、祝日および、年末年始は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

- ●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- ●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

【設計上の標準使用期間】　7年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

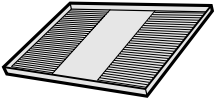
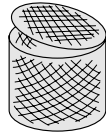
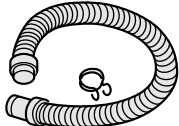
（設計上の標準使用期間とは）

・運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
・設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件

(社)日本電機工業会自主基準HD-116-5による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65％	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	洗い(7分)→脱水(3分)→すすぎ(5分)→脱水(3分)	
	給水圧力	0.03～0.8MPa	
	給湯・給水温度	20℃±15℃	
使用時間及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	上記行程での時間(18分)	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日＝547.5回／年	

注記：温度20℃、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

（経年劣化とは）

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2012年9月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

■洗濯機用トレー（YT-2）
希望小売価格
7,350円(税抜 7,000円)

■毛布洗いネット（MO-F40）
希望小売価格
2,940円(税抜 2,800円)

■糸くずフィルター（NET-701）
希望小売価格
630円(税抜 600円)

■延長用排水ホース（約80cm）（KW-50K1　023）
希望小売価格
840円(税抜 800円)

●上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕　様

種類	電気洗濯機	標準水量	3：64L	質量	約34kg
電源	100V 50／60Hz共用		2：50L	定格時間	洗濯側：40分
洗濯方式	うず巻式		1：40L		脱水側：10分
標準洗濯容量	8.0kg	外形寸法	幅922mm×奥行509mm ×高さ935mm	消費電力 50Hz/60Hz	洗濯側 285/340W
標準脱水容量	8.0kg				脱水側 185/190W

このマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率が基準値以下であることを示しています。
（規定の除外項目を除く）　JIS C 0950：2008

詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　**電話（　　）　ー**

ご購入年月日　　　　**年　月　日**

廃棄時にご注意ください。
2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
3-J7348-3N